

施政方針と25年度予算との整合性を問う

条件整備を整えながら整合性を図る



中山 美幸 議員

町長は、施政方針で大隅地域に風が吹いている、その風に乗っていききたいという発言をされた。しかし25年度予算にその事が示されていない。25年度町の政策、方向性を明確に示すべきである。どのような考えで行政を進めるのか。

活力ある町安心して生活できる町をめざす

町長

予算編成にあたり、国の変化や大隅地域に勢いがある、人と物とが行き交う物流の拠点となるような活力ある町、住民が

子育てや生活において安心できる町を目指す。これらを実現するために、具体的に予算化した部分と、予算化するための条件整備が必要な部分がある。施策時期や財源の見込みのあるものは予算計上した。予算化に向けて諸条件を整備する必要のある施策は関係機関と協議、情報発信などに重点を置き、具体化するための骨格づくりの年にしたい。

委員会設置などの予算は必要ないのか

中山美幸議員

菱田中学校跡地検討委員会20万円の補正減、有明高校跡地のスポーツセンター誘致、陸上競技場建設など県の計画に対し住民の意向、活用方法など事前に把握し県との

交渉では町としての意見を持つてあたるべきである。その為の委員会設置予算なども計上すべきではないか。

基本構想確定後補正で対処したい

町長

県が基本構想を策定するとしているのが、平成25年度からということ、構想の内容が分からない状況である。私も県の基本構想の委員に加えていただき、本町としての要望をしていきたい。今後必要な経費は補正予算で計上する。

町民税5000万増収の根拠を示せ

中山美幸議員

新年度予算書、町税収入が5,300万円増収になっている。何を基

に増収計上されたか、町長の所得増政策、方針があつて、町民の所得がこれだけ増加し税収増が見込める事の試算によるものと思われるが、今回の施政方針では見当たらない。平成21年度市町村民所得累計の結果、大崎町平均所得、212万4,000円である。推計でもマイナス傾向でなかなかプラスに転じてない。そのような状況下で生産人口年齢なども加味し、どれだけの所得を上げようと考えると、この予算、町民税増収を算定したか。

収支のバランスをとって予算化した

町長

予算計上において歳入、歳出を計算して、収支のバランスをとって予算を作っていく。予算策定においては、その各課の必要な経費など全部上げさせている。町税が増加状況にあると受け止めているので、できるだけ多く

の事業を示した額で提案した。

中小企業者に対する利息補てん制度はできないか

中山美幸議員

税収を上げるための政策、定住化対策も必要で町外から本町に住んでいただく、そういった政策を早急に図っていたきたい。また、本町総合計画の中で商業、サービス業の振興について触れている。商工振興・地域産業の振興の観点から、設備投資や運転資金等の小規模事業者経営改善事業・制度資金・地銀等の融資に対する利息補てんを政策的に実施できないか。

条例化し実施する

町長

今まで商工会からは利子補給制度の申請は無かった。中小企業経営安定化のために景気浮揚対策でいろいろな事業を実施されているが、中小企

業円滑化法が3月で終了するなど非常に厳しい面もあるので、利息補助制度は近隣の自治体を調査しながら、前向きに検討して実施したい。

空き家・空地適正管理条例の制定はできないか

中山美幸議員

雑草が繁茂し、近隣の住民の方々が危険を感じる空地。倒れそうな住宅がそのままになっている空家。これらは住民ではどうすることもできない。景観上も悪く、衛生上も悪い。条例を作り対策を講じる必要があるかどうか。

25年度制定を目指す

町長

空き家の撤去方法など、25年度中に調査・研究を行い、慎重に条例制定の準備を進める。